

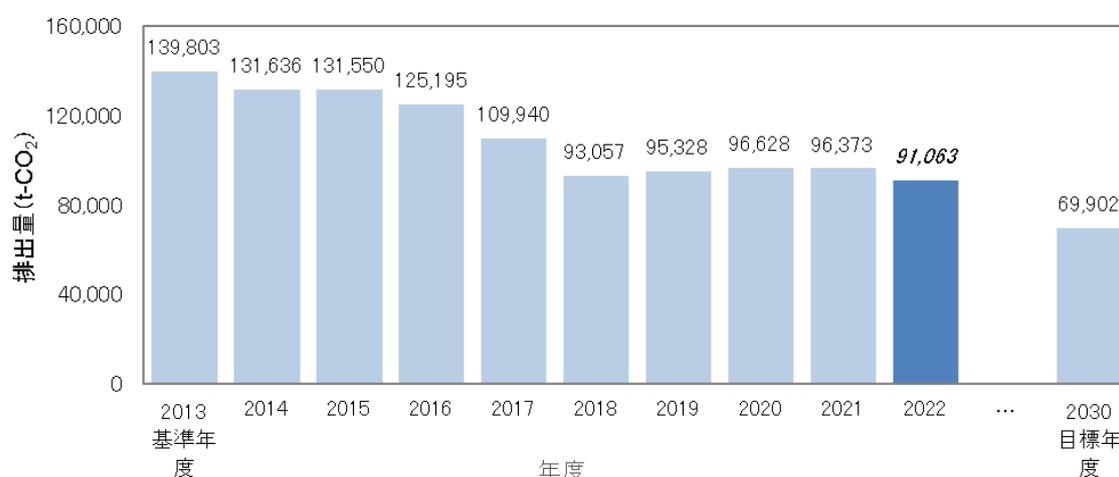
2022年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量について

2022年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量は91,063t-CO₂となり、前年度(2021年度)からは5.5%の減少、「府庁の省エネ・創エネ実行プラン(第2期)」(2021年12月策定)の基準年度(2013年度)からは34.9%の削減となりました。

コロナ禍による行動制限の緩和等の増加要因もある中、電気排出係数の減少等により、全体としては前年度比5.5%減となりました。

なお、排出量は「地方公共団体実行計画(事務事業編) 策定・実施マニュアル(算定手法編)(令和3年3月環境省)」に沿って算定しています。

1 排出量の推移

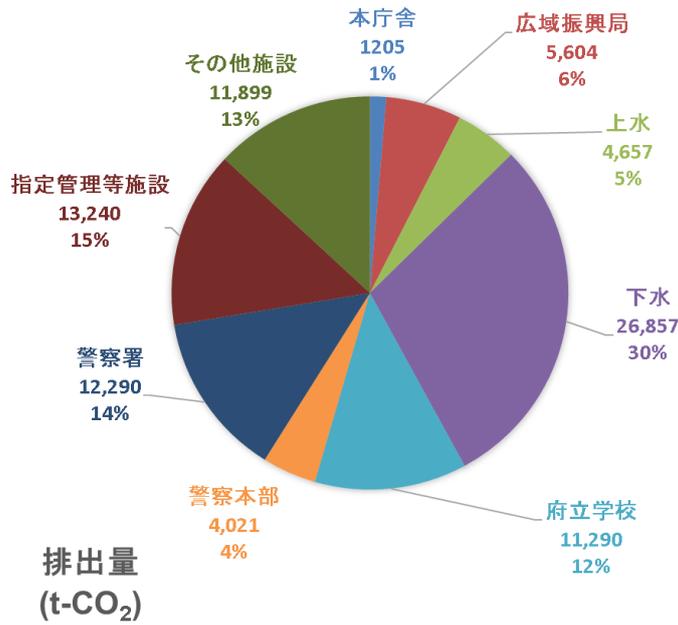


年度	2013 基準年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2030 目標年度
排出量 (t-CO ₂)	139,803	131,636	131,550	125,195	109,940	93,057	95,328	96,628	96,373	91,063	69,902 以下
前年度比 (%)	-	▲ 5.8	▲ 0.1	▲ 4.8	▲ 12.2	▲ 15.4	2.4	1.4	▲ 0.3	▲ 5.5	
2013年度比 (%)	-	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 10.4	▲ 21.4	▲ 33.4	▲ 31.8	▲ 30.9	▲ 31.1	▲ 34.9	▲ 50 以上
電力排出係数 ^{※1} (kg-CO ₂ /kWh)	0.522	0.531	0.509	0.509	0.435	0.352	0.360	0.381	0.380	0.349	0.250 ^{※2}
前年度比 (%)	-	1.7	▲ 4.1	0.0	▲ 14.5	▲ 19.1	2.3	5.9	▲ 0.2	▲ 8.2	-

※1 「電力排出係数」は、2013～2018年度は各年度の関西電力の基礎排出係数を、2019～2022年度は各電気事業者の基礎排出係数の平均値(各府有施設の電力使用量による重み付け平均値)を記載している(各年度の電気使用によるCO₂排出量は、当該排出係数を使用して算定)。

※2 「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」(資源エネルギー庁)に基づく2030年度の全電源平均の電力排出係数。

2 施設種別排出量



施設種別	2021年度		2022年度					考えられる増減要因	
	排出量 (t-CO ₂)	電力排出 係数 ^{※3} (kg-CO ₂ /kWh)	排出量 (t-CO ₂)	前年度比較		電力排出 係数 ^{※3} (kg-CO ₂ /kWh)	前年度 増減率 (%)	増加要因	減少要因
				増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)				
本庁舎	941	0.067	1,205	264	28.0	0.127	89.4	・電力排出係数の増加	
広域振興局	5,205	0.458	5,604	399	7.7	0.360	▲ 21.4	・定額電灯の使用電力の電力排出係数の増大 ^{※4}	・電力排出係数の減少
上水	5,799	0.449	4,657	▲ 1,142	▲ 19.7	0.379	▲ 15.7		・電力排出係数の減少 ・送水量の減少
下水	30,258	0.390	26,857	▲ 3,401	▲ 11.2	0.366	▲ 6.3		・電力排出係数の減少 ・流入下水量の減少
府立学校	12,915	0.442	11,290	▲ 1,625	▲ 12.6	0.362	▲ 18.1		・電力排出係数の減少
警察本部	3,864	0.299	4,021	157	4.1	0.360	20.4	・電力排出係数の増加	・空調設備改修工事に伴うエネルギー使用量の減少
警察署	11,668	0.330	12,290	622	5.3	0.360	9.1	・電力排出係数の増加	・暖冬による設備の稼働減少
指定管理等施設 ^{※1}	12,994	0.367	13,240	246	1.9	0.323	▲ 12.0	・新型コロナウイルス流行に関する制限緩和	・電力排出係数の減少
その他施設 ^{※2}	12,731	0.395	11,899	▲ 832	▲ 6.5	0.366	▲ 7.4		・電力排出係数の減少
合計	96,373	0.380	91,063	▲ 5,311	▲ 5.5	0.349	▲ 8.2		

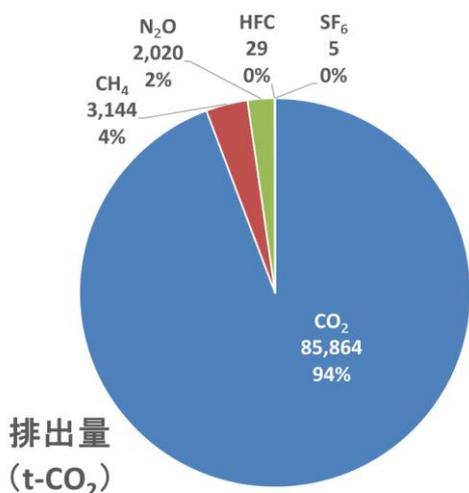
※1 「指定管理等施設」：京都文化博物館、京都府府民総合交流プラザ、けいはんなオープンイノベーションセンター、山城総合運動公園、府立けいはんなホールなど。(排出量が最も大きい順に5施設)

※2 「その他施設」：洛南病院、京都府立植物園、京都府警察学校、中小企業技術センター本所、保健環境研究所など。(同上)

※3 表に記載の電力排出係数の値は、定額電灯を除く電気の使用に伴う排出量 (kg-CO₂) を、定額電灯を除く電気の使用量 (kWh) で割った値。

※4 0.299kg-CO₂/kWh から 0.360kg-CO₂/kWh に増大。

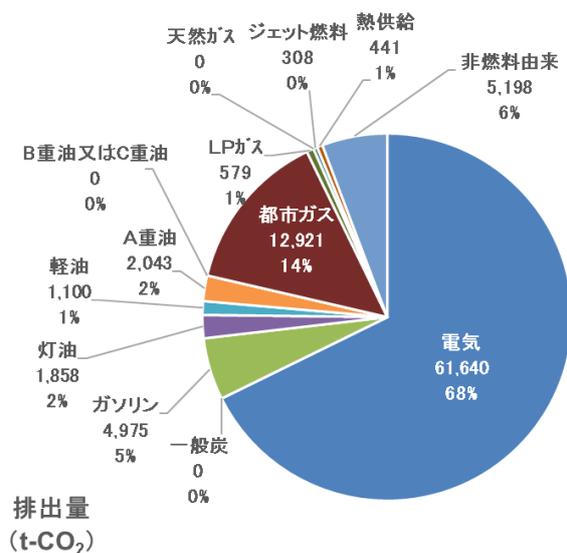
3 温室効果ガス種別排出量



ガス種別	2021年度 排出量 (t-CO ₂)	2022年度	
		排出量 (t-CO ₂)	前年度比較 増減量 (t-CO ₂) 増減率 (%)
二酸化炭素(CO ₂)	89,620	85,864	▲ 3,755 ▲ 4.2
メタン(CH ₄)	3,399	3,144	▲ 255 ▲ 7.5
一酸化二窒素(N ₂ O)	3,314	2,020	▲ 1,294 ▲ 39.0
ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)	29	29	0 1.7
六ふっ化硫黄(SF ₆)	12	5	▲ 7 ▲ 59.8
合計	96,373	91,063	▲ 5,311 ▲ 5.5

※CO₂以外の各ガスの排出量は、地球温暖化係数を用いたCO₂換算値。地球温暖化係数(GWP: Global Warming Potential)とは、CO₂を1(基準)として、各ガスの温室効果の強さを数値化したもの(CH₄: 25、N₂O: 298、HFC-134a (HFCの一種): 1,430、HFC-143a (HFCの一種): 4,470、SF₆: 22,800など)。

4 燃料別排出量



燃料別	2021年度 排出量 (t-CO ₂)	2022年度	
		排出量 (t-CO ₂)	前年度比較 増減量 (t-CO ₂) 増減率 (%)
電気	64,761	61,640	▲ 3,121 ▲ 4.8
一般炭	0.0	0	- -
ガソリン	5,018	4,975	▲ 43 ▲ 0.9
灯油	2,218	1,858	▲ 360 ▲ 16.2
軽油	1,151	1,100	▲ 51 ▲ 4.4
A重油	2,299	2,043	▲ 256 ▲ 11.2
B重油又はC重油	48.9	0	- -
都市ガス	12,538	12,921	383 3.1
LPガス	842	579	▲ 262 ▲ 31.2
天然ガス	0	0	0 -
ジェット燃料	339	308	▲ 31 ▲ 9.0
熱供給	388.7	441	- -
非燃料由来	6,771	5,198	▲ 1,573 ▲ 23.2
合計	96,373	91,063	▲ 5,311 ▲ 5.5

参考 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の例 (2022年度)

省エネの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 警察本部伏見留置センター、18警察署等のLED化の推進 急速濾過設備改築更新の推進(洛南浄化センター) 「京都府環境マネジメントシステム」に基づくエコオフィス活動(冷暖房の適切な温度設定、こまめな消灯、ウェブ会議の推進等)
再エネ電気の調達	<ul style="list-style-type: none"> 「京都府電力の調達に係る環境配慮契約方針」に基づく電力調達